

発刊にあたって

自治体病院は、全国各地で地域の信頼に応え、住民が安心して暮らすことができるよう適切な医療サービスを安定的かつ継続して提供していくという重要な役割を担っています。しかしながら、近年の諸物価高騰により、医療環境は大変厳しい状況が続いており、病院の経営にも大きな影響となって表れているところであります。このような中、経営の実態を適切に把握し、その現状を明らかにしながら、経営の効率化を図っていくことが常に求められております。

本書は、当協議会が団体加盟している全国公私病院連盟で従来から実施してきた「収益費用調査」を、昭和 47 年度から「病院経営実態調査」と改め、以来毎年全国公私病院連盟と共同して定期的に調査を実施し報告書として刊行しているものであり、社会保険診療報酬の適正化に資するとともに、自治体以外の開設主体によって設置された病院との比較を行うことなどを通し、自らの病院の経営分析を行うに当たって大変有意義なデータブックとなっています。

今回も業務ご多忙中にもかかわらず多数の会員病院からご尽力を賜り「病院経営実態調査報告」を発刊することができました。調査のご協力に対し、厚く感謝申し上げます。

本報告が有効に活用され、合理的な病院経営の推進の一助になることを期待するものであります。

令和 8 年 3 月

公益社団法人 全国自治体病院協議会
会 長 望 月 泉